

天草中央総合病院地域協議会 議事概要

【日 時】平成 29 年 2 月 21 日（火）18：00～19：00

【場 所】天草中央総合病院 第一会議室

- 【議 題】
1. 訪問看護ステーション開設について
 2. 地域医療構想（周産期医療・救急医療等）について
 3. 平成 29 年度診療体制について

【出席者】 稲田 知久（天草保健所長）
酒井 一守（天草郡市医師会長）
大山 幸朝（利用者・有識者代表）
竹口 東一郎（天草中央総合病院院長）
矢野 辰志（天草中央総合病院副院長）
村上 聖一（天草中央総合病院副院長）
横田 照美（天草中央総合病院総看護師長）
福嶋 ひろみ（天草中央総合病院副総看護師長）
岡部 広三（天草中央総合病院事務長）
松原 大作（天草中央総合病院事務長補佐（医事））
中川 貴夫（天草中央総合病院総務係長）
田中 朋子（天草中央総合病院財務管理係長）

（敬称略）

【概 要】

1. 訪問看護ステーション開設について
 - ・平成 29 年 4 月より訪問看護を開始し、平成 29 年 10 月 1 日からの訪問看護ステーション開設に向け、準備を進めている。
 - ・対象エリアは？ ⇒ 片道 30 分の距離を検討しているが、エリア設定が課題である。
2. 地域医療構想について
 - ・周産期医療は、産婦人科常勤医師 3 名、麻酔科医師 1 名、小児科医師 1 名の 3 診療科体制で、年間自然分娩 475 件ほど、帝王切開 80 件ほどあり、医師に負担がかかっている状態です。今後、周産期医療を維持していくには、天草地域全体の問題として地域医療構想会議や地域医療調整会議等で行政・医師会も含めて、協議を進めて頂きたい。

- ・救急医療も、年間 600 台ほど受け入れていますが、医師数の減少により当直回数が増え、医師に負担をかけている状況です。重症よりも、中等症、軽症が多く、救急隊が症状をみて、心臓・整形・脳手術等が必要な患者は当院以外へ搬送という具合に振り分けをしている。

3. 平成 29 年度診療体制について

- ・平成 29 年 4 月より、産婦人科、放射線科、歯科口腔外科の医師が交代となる。
- ・耳鼻咽喉科が週 3 回から週 2 回へ変更となる。耳鼻咽喉科は天草地域に入院施設がないので、救急患者等の入院受入施設として継続してもらいたい。

—以上—